

OM Quality

OMソーラーの家が心地よいと感じる、 3つの理由。

もともと自然がもっている力を利用して、快適な住まいを生み出すOMソーラーの家づくり。

その基本は、いつの時代でも不可欠な「デザイン」「快適」「省エネ」という3つの考え方で構成されています。人にとって“住まう”ことや“心地よさ”とは何かを追求してたどりついた、変わることのない価値がここにあります。

自然の性質を使った、 熱と空気のデザイン。

自然界で生きる動植物には、その環境に適応するための理にかなった機能や造形が備わっています。日本建築もまた、自然との調和を図るためのさまざまな仕組みや様式が、先人より受け継がれてきました。OMソーラーの家は、建築としての美しさを考えながら、自然エネルギーを活用して快適さを生み出す住まい。太陽熱で温めた空気を床下へ送って家全体を温めるという、暖かい空気が上に昇る性質を利用して建物を設計しています。自然の摂理に対応して快適な住環境をつくらうとするパッシブデザインの設計思想は、OMソーラーの家づくりのもっとも大切な基本です。

自然の暖かさがもたらす、 快適な毎日。

外気を遮断し、エアコンで室温を一定に保った部屋で一日を過ごす。そんな暮らしは、はたして快適と呼べるのでしょうか。そうした温熱環境では、家の中に大きな温度差が生じたり、人間本来の体温調節能力に悪影響を与えるなど、さまざまな弊害を引き起こします。OMソーラーは、部屋ごとではなく家全体をゆるやかに温める暖房方式。家の中の温度差を少なくすることで、部屋を移動する際にも急激な温度変化による身体への負担を抑えます。ほどよい自然の暖かさに包まれながら、季節の移ろいも肌で感じられる。そんな健やかで快適な室内環境をつくり出します。

賢い生活スタイルが育む、 省エネルギー。

家庭で使うエネルギーの半分以上は、暖房や給湯などの熱エネルギー。暖房は20℃程度、給湯も40℃もあれば十分はず。これに電気・ガス・化石燃料などの品質の高い“ハイ・エネルギー”を使うのは非常にもったいないことです。OMソーラーは、太陽熱をそのまま暖房や給湯に利用する、いわゆる“ロー・エネルギー”で暮らすという発想。さらに太陽光発電パネルを使えば、照明や電化製品のためのエネルギーも生み出せます。ロー・エネルギーでまかなえる部分と、ハイ・エネルギーに頼るべき部分をしっかり使い分ける。そんなバランスのとれた暮らしこそが、賢い省エネ生活につながるかと考えています。

